

[学域からの検索](#)
[学部・大学院からの検索](#)
[共通教育科目からの検索](#)
[すべての科目からの検索](#)
[過去のシラバスからの検索](#)
[科目区分検索](#)
[科目名検索](#)
[教員名検索](#)
[キーワード検索](#)
[TOP](#) > [共通教育科目からの検索](#) > [科目区分検索](#) > [検索結果一覧](#) > 科目詳細

[◆印刷プレビュー](#)
共通教育科目 > 総合科目a(現代を読み解く・世界を読み解く) > 地域の個性と異文化理解

授業科目名[英文名] / Course Title	北陸学総論[Introduction to Culture and Nature of the Area Hokuriku] 双方向遠隔授業		
担当教員名[ローマ字表記] / Instructor	渡辺 達雄 [WATANABE TATSUO]		
時間割番号 / Course Number	70083	科目区分 / Category	総合a(現代を読み解く・世界を読み解く)
講義形態 / Lecture Form		対象学生 / Assigned Year	1年から3年
適正人数 / Class Size	50	開講学期 / Semester	後期
曜日・時限 / Day・Period	水曜・5限	単位数 / Credit	2
キーワード / Keywords	北陸、文化、自然		

●「共通教育科目」の時間割番号は、平成17年度以前入学者は頭の数字を「7」ではなく「9」として履修登録してください。

授業の主題 / Topic

北陸という地域の文化と自然環境の概要を紹介する。複数の教員により、北陸の地域に関わる歴史、産業、地質、生態系など多様な側面を解説する。

授業の目標 / Objective

北陸の文化と自然について授業担当者それぞれの切り口で地域の独自性、特殊性を明らかにする。提示された文化、自然についての知見の間いかなる相互の関係があるかを自分なりに考察することが受講する上での楽しみとなるであろう。受講生各々が独自の視点を得て、さらに深く北陸を理解するためのきっかけとしたい。本授業は、金沢大学、福井大学、富山大学を双方向遠隔授業システムで結んで行う。(対象学年は1年、2年、3年とする。)

学生の学習目標 / Learning Outcomes

北陸の歴史、産業、地質、生態系など多様な側面から北陸を知る、あるいは再認識する機会とし、北陸という地域についてより深く考えるための視点を養うことを目的とする。

授業の概要 / Outline

この授業は、双方向遠隔授業システムを用いて金沢大学、福井大学、富山大学の3教室を結んで行う。

10月 5日 渡辺 達雄 ガイダンス
 10月12日 門井直哉先生「『北陸』の成り立ち」
 10月19日 古畑 徹先生「北陸と環日本海諸地域の交流1ー渤海使を中心に」
 10月26日 古畑 徹先生「北陸と環日本海地域の交流2ー漂流民を中心に」
 11月 2日 古畑 徹先生「昆布の道と前近代日本海の物流」
 11月16日 湊 七雄先生「北陸三県のアートシーンを探る」
 11月30日 前半の内容を踏まえたディスカッション
 12月 7日 松井隆幸先生「現代北陸の繊維産業-非衣料、自動車から建築まで1」
 12月14日 松井隆幸先生「現代北陸の繊維産業-非衣料、自動車から建築まで2」
 12月21日 中村浩二先生「北陸の里山:重要性、現状、問題点」
 1月 4日 横畑泰志先生「モグラもいれば、クマも出る-北陸の哺乳類1」
 1月11日 横畑泰志先生「モグラもいれば、クマも出る-北陸の哺乳類2」
 1月18日 川本義海先生「北陸地域のまちづくり」
 1月25日 塚脇真二先生「北陸の海と陸-日本海と日本アルプスのはざままで1」
 2月 1日 塚脇真二先生「北陸の海と陸-日本海と日本アルプスのはざままで2」

評価の方法 / Grading Method

※成績評価: 次項の項目及び割合で総合評価し、次のとおり判定する。
 「S(達成度90%~100%)」、「A(同80%~90%未満)」、
 「B(同70%~80%未満)」、「C(同60%~70%未満)」を合格とし、
 「不可(同60%未満)」を不合格とする。(標準評価方法)

評価の割合 / Grading Criteria

授業には、3分の2以上の出席を必要とする。

レポート	80%
出席状況	20%

テキスト・教材・参考書等 / Teaching Materials

●[図書館トップページへリンク](#)

その他履修上の注意事項や学習上の助言 / Others**オフィスアワー等(学生からの質問への対応方法等) / Consultation Time**

授業のガイダンス時に詳細を公表する。

受講者数調整の方法 / Method for adjusting class size

抽選

開放科目 / Subject of open**特記事項 / Special note**

双方向遠隔授業

[▲ページの先頭へ](#)

3

担当部署: 金沢大学・学生部・学務課